

課題講義Ⅱ ⑪

H20.09.09

義歯装着と 装着に伴う問題



部分床義歯の装着

部分床義歯の装着

1. 適合診査

- ① レストとレストシート → 定位置に適合したかどうかの証明
- ② クラスプアームと支台歯
- ③ 義歯床と床下粘膜面との適合

義歯床と周囲組織(小帯, 舌, 頬粘膜, 辺縁歯肉)との適合

適合診査材 プレッシャーインディケーターペースト

ホワイトシリコン



再度ペーストを塗布して繰り返し行える



プレッシャーインディケーターペースト



2. 咬合診査

- ① 咬合紙による診査(中心咬合位, 偏心位)
- ② 筋触診(中心咬合位の診査, 偏心位では困難)
- ③ 咬合音(中心咬合位でタッピング, 聴診, 咬合音波形)

義歯装着後の患者の指導＝取扱説明書

1. 義歯の着脱

着脱は一定の方向性があることを説明.

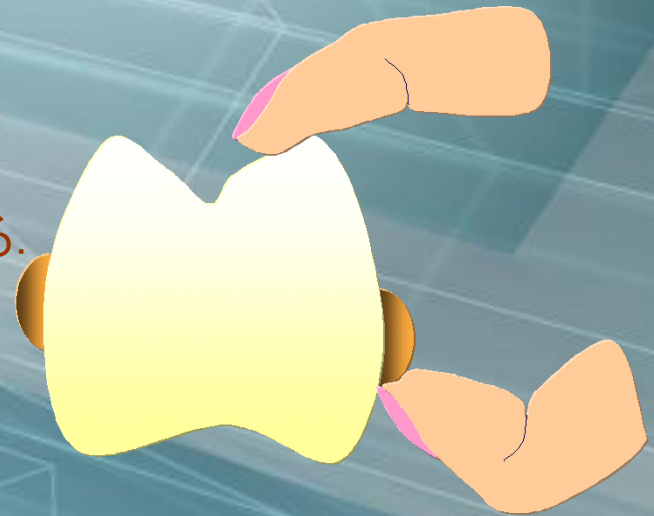
☺必ず鏡を見せて、術者が見本を見せ、実際に行わせる. 左右同時に等しい力で.

左右の鉤歯の咬合面に指頭をあてて、
歯をストレスから保護.

線鉤では特に変形に注意



☺義歯を舌によつてはずすという悪習慣について注意する.



2. 義歯の清掃(デンチャープラークコントロール)

不潔な義歯は衛生的にも審美的にも治療の目的を損なう。



齲蝕、歯肉炎、歯周病、義歯性口内炎の原因となる。

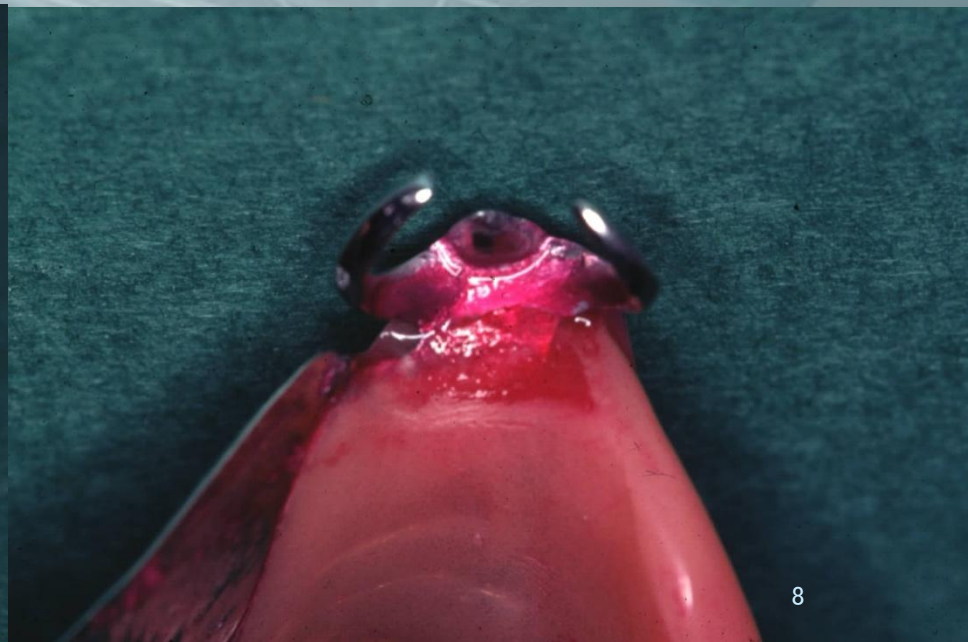


十分に研磨されたレジンであっても顕微鏡レベルでは凹凸が残っており細菌が付着し、かつ、レジンには吸水性がある。



プラークが付着しやすい(除去困難)材料

軟性裏装材、粘膜調整材 > レジン > 金属、陶材





機械的洗浄

- ① ブラシによる清掃: 普通の歯ブラシ, 義歯用歯ブラシ
- ② 超音波による清掃(家庭用)



化学的清掃 = 義歯洗浄剤

- ① 過酸化系
- ② 次亜塩素酸系
- ③ 酸系
- ④ 酵素系

使用方法を誤ると義歯表面の粗さを増加させ、金属部の酸化を生じる危険有り。



3. 残存歯の清掃

通法のブラッシング法で清掃させ、特に欠損側隣接面に注意



4. 夜間の装着について

口腔内の自浄作用が阻害されるので夜間ははずす、



組織の安静と回復の時間を与える。



水中あるいは洗浄剤中に保管する。



顎関節症やブラキシズムにより就寝時の義歯の取り外しが困難な場合には、入浴時などに義歯を取り外し粘膜の健康保持に努める。



5. 不快感(異物感), 疼痛

義歯には異物感による苦痛やかさばり感があり, 感覚的に慣れるまで忍耐が必要.



義歯装着による意義について再確認し, 装着意欲を高める.

装着時に十分調整しても, 疼痛の発生する可能性がある.



チェアサイドでの調整は, 随意的運動であること



患者特有の咬合習慣により, 咬合関係や義歯の安定に変化が生じる

義歯の吸着や咬合圧による床下粘膜の貧血や充血によることもある



6. 咀嚼, 発音訓練



総義歯タイプで発音に7~10日, 咀嚼に約2週間くらい



口唇, 舌, 軟口蓋や咽頭などが義歯と調和するまで最低数日必要であり個人差も大きい.

新義歯の環境に適応させるには, 神経筋機構の学習が必要.



新義歯装着時は従来の機能をかえって阻害することがあるので再訓練が必要である



ことを説明.

慣れるまでは固い食品, 扱いにくい粘りけのあるものは避ける.



発音しにくい言葉は大きな声で繰り返し練習する. 発音訓練(音読)は, 効果があるので勧めてみる.



7. 義歯の機能回復の限界

咀嚼, 発音などには回復に限界がある

8. 患者自身による口腔内の点検

鏡で自分の口腔内を診査する習慣をつける。これにより齲蝕, 歯石, 食物残渣等を早期に発見させ, 異常や頭痛が有れば来院するよう指導する。

9. リコールの必要性

自覚的異常がなくても, 専門的な立場から一定期間毎の診査を行い, 有害因子の除去と衛生管理について指導する必要性を説明。

部分床義歯装着に伴う問題

症状の発現時期と原因

(疼痛, 動揺, 発赤, 腫脹, 義歯ダツリ, 破折...)

義歯装着前

→ 旧義歯や義歯とは無関係な原因

義歯装着直後(～6ヶ月??)

→ 製作した義歯の製作や設計に原因

義歯装着後長期経過(6ヶ月?～)

→ 使用による義歯や口腔内の変化に原因

義歯装着時に不適合をきたす原因

－製作行程と起こりやすいミス－

不正な印象

咬合採得の誤差, 下顎位の不正

サベーイングの不正

不適當な設計(鉤腕とアンダーカット量, バー, 床縁の設定位置)

模型への処置(ブロックアウト, リリーフ)

製作途中での模型のハセツ, 摩耗

重合による変形, 開輪時のミスによる変形

アンダーカットに入った床縁, バリ, 気泡などのレジン突出部



OO後に
異常が出た

装着直後の義歯床下粘膜の疼痛の原因

顎堤の不正

歯槽頂付近の尖鋭な突起, ナイフエッジ上の骨縁

義歯の不適合(床縁の過長)

機能時の唇, 舌, 頬などの可動部との摩擦、義歯にバリ

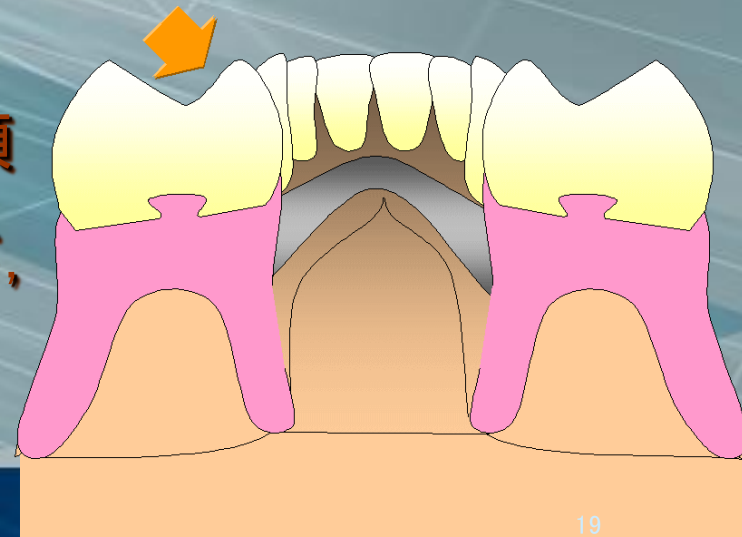
→義歯性潰瘍

不正な咬合関係

人工歯咬合面の過高部により咬頭

干渉が生じ、義歯が部分的に圧下、

水平的動揺(推進現象) →



粘膜の症状

褥瘡性潰瘍

齲齒の尖った辺縁、不適合補綴物や義歯などの機械的刺激により粘膜に生じる炎症を伴う有痛性の潰瘍

義歯性潰瘍

義歯により生じた褥瘡性潰瘍

義歯性口内炎

義歯の機械的・化学的刺激や細菌増殖による発赤、浮腫

義歯性線維腫（義歯性線維症）

義歯床の慢性刺激による粘膜の反応性肥大、可動性無痛性。

カンジダ症

カンジダ菌による真菌症。日和見感染、抵抗力の低下、抗生物質・副腎皮質ホルモン剤の使用などが原因。

義歯装着後長期経過したときの変化①

- 残存歯 齲蝕
 歯周病
 外傷
- 粘膜・歯槽骨 吸収

義歯装着後長期経過したときの変化②

義歯

- 人工歯 摩耗
- クラスプ[°] 摩耗による維持力低下
- 義歯床 劣化
- 金属部 金属疲労 加工硬化

義歯による疼痛 ①(原因)

1. 原因

- 1) 支持力不足
 - ① 残存歯による支持: **レストの不足(短長期)**、破損
 - ② 粘膜による支持: 義歯床面積、連結装置の幅

- 2) 咬合の不調和
 - ① 咬合が高い
 - ② 中心咬合位、偏心位の早期接触
 - ③ 人工歯の幅径が大きすぎる

- 3) 義歯床の不適合
 - ① 床縁の過長(比較的短期)
 - ② ブロックアウト、リリースの不足(比較的短期)
 - ③ 義歯床内面の突起、不適合(比較的短期)

- 4) 義歯の動揺
 - ① 維持装置の設計ミス
 - ② 維持装置の不適合

義歯による疼痛 ②(対処法)

床下粘膜全体にわたる発赤
では、リリースは通常しない

2. 処置

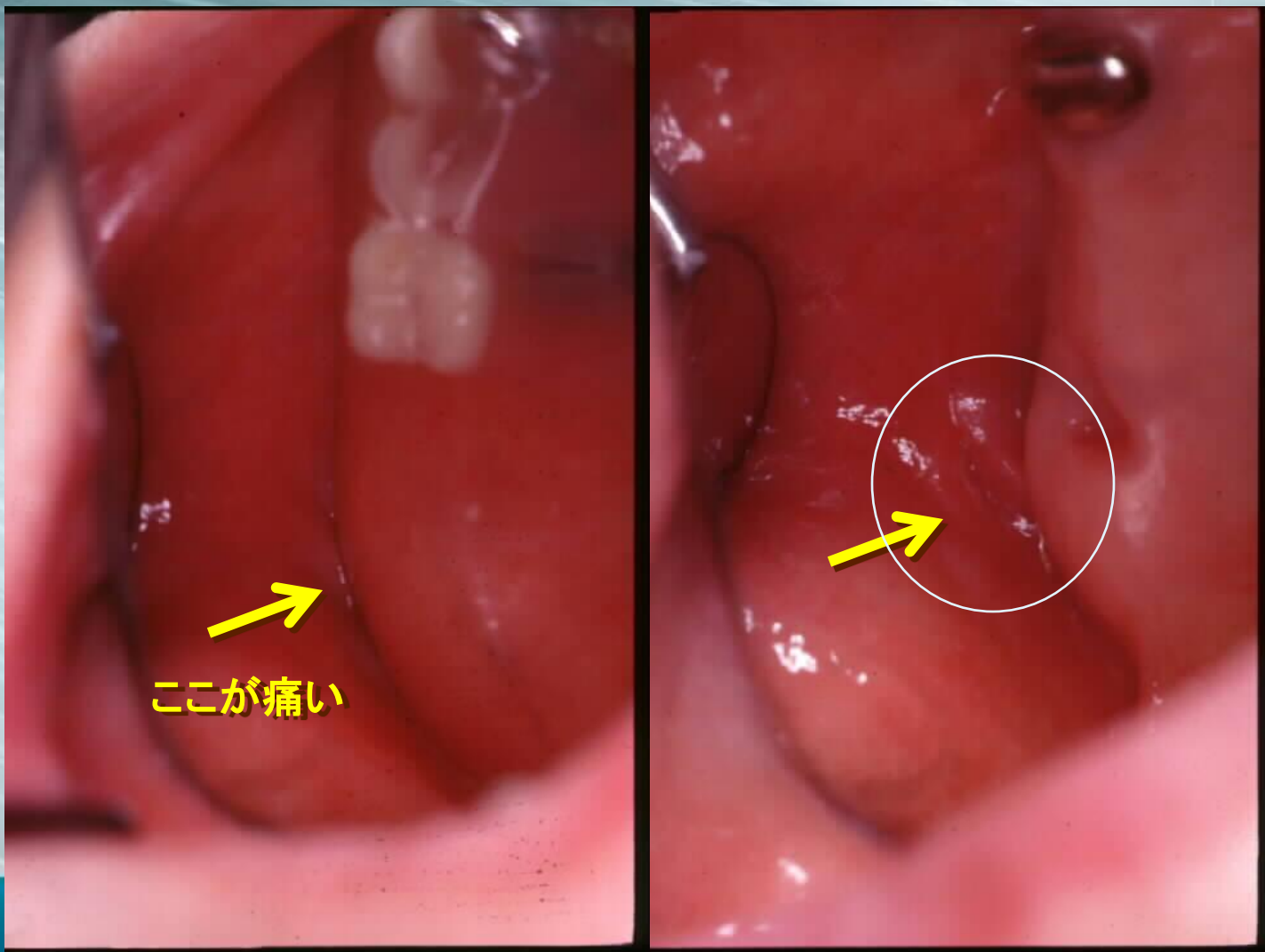
- 1) 支持力不足 → **レストの増設**、義歯床面積の拡大
- 2) 咬合の不調和 → **咬合調整**
- 3) 義歯床の不適合 → 床縁・粘膜面調整、**リライニング**
- 4) 義歯の動揺 → **咬合調整** 設計の変更
- 5) 粘膜の圧痕、炎症 → **粘膜調整**

長ければ削除、短ければのぼす
広い範囲では削らない

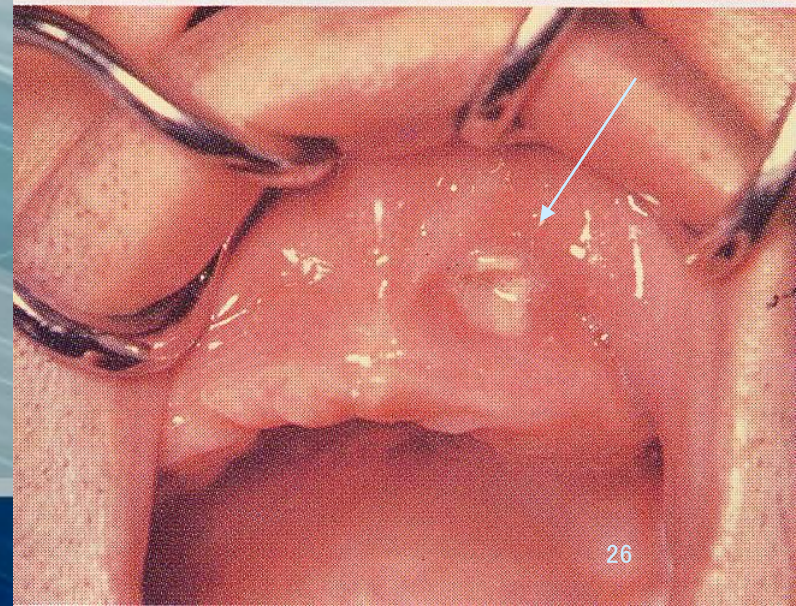
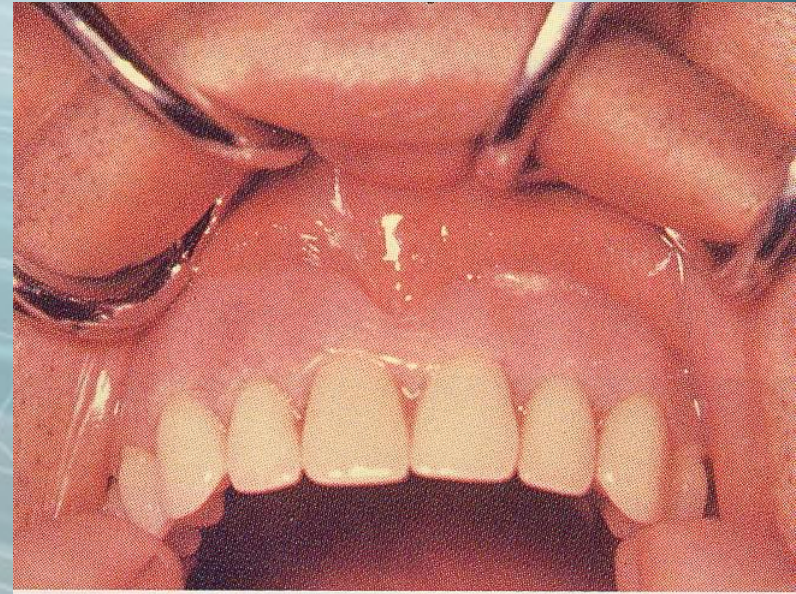
リライニングの前に、粘膜
に圧痕や炎症がないかを
確認する！
あれば**粘膜調整**を先に
行う！

症状発生の具体例

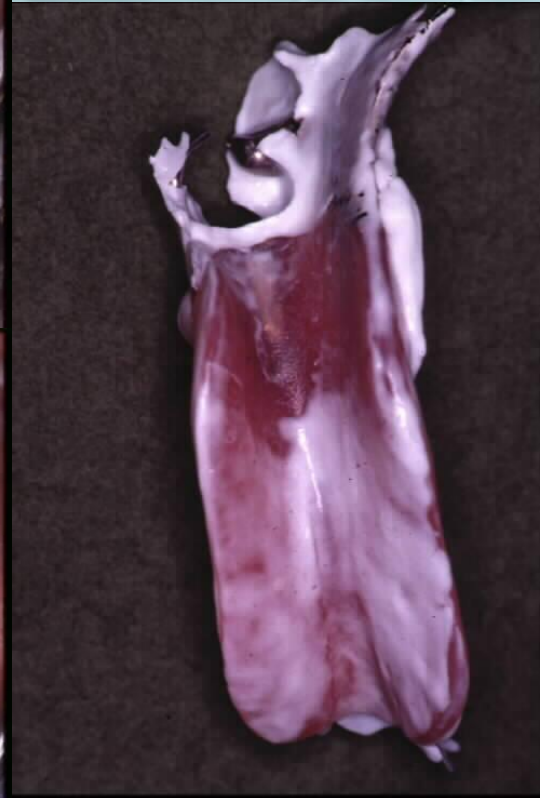
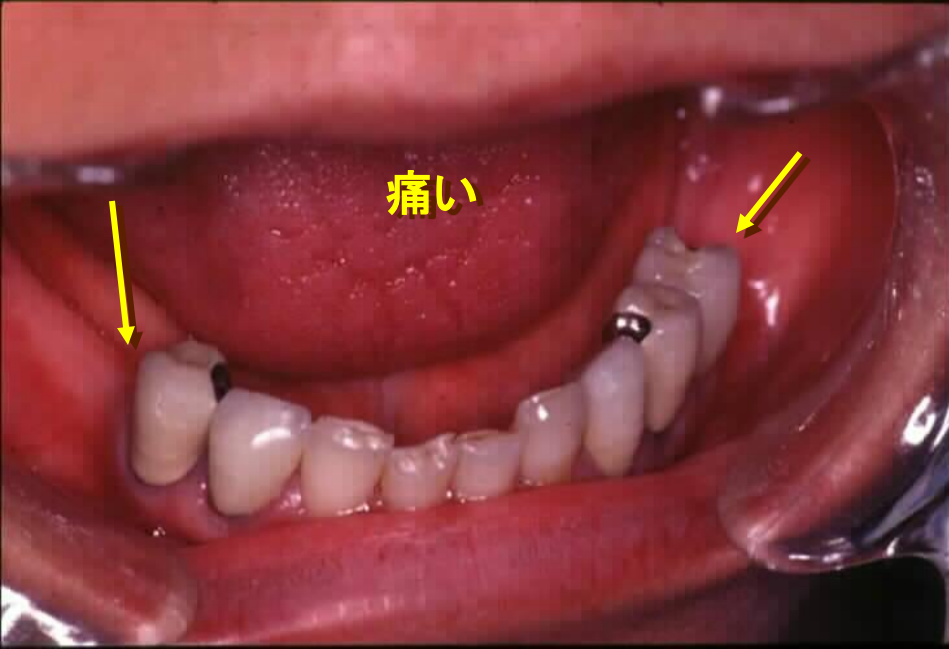
疼痛, 義歯性潰瘍



疼痛，義齒性潰瘍



疼痛



疼痛と義歯動揺

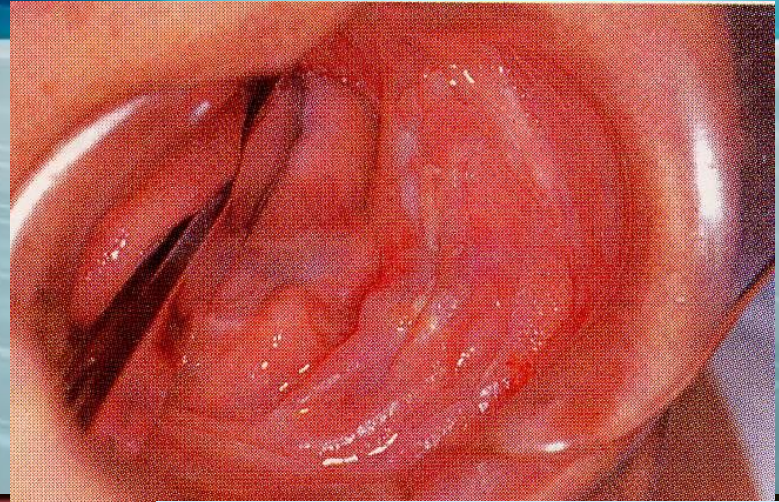


咬合時に義歯が前方に動揺し、痛い

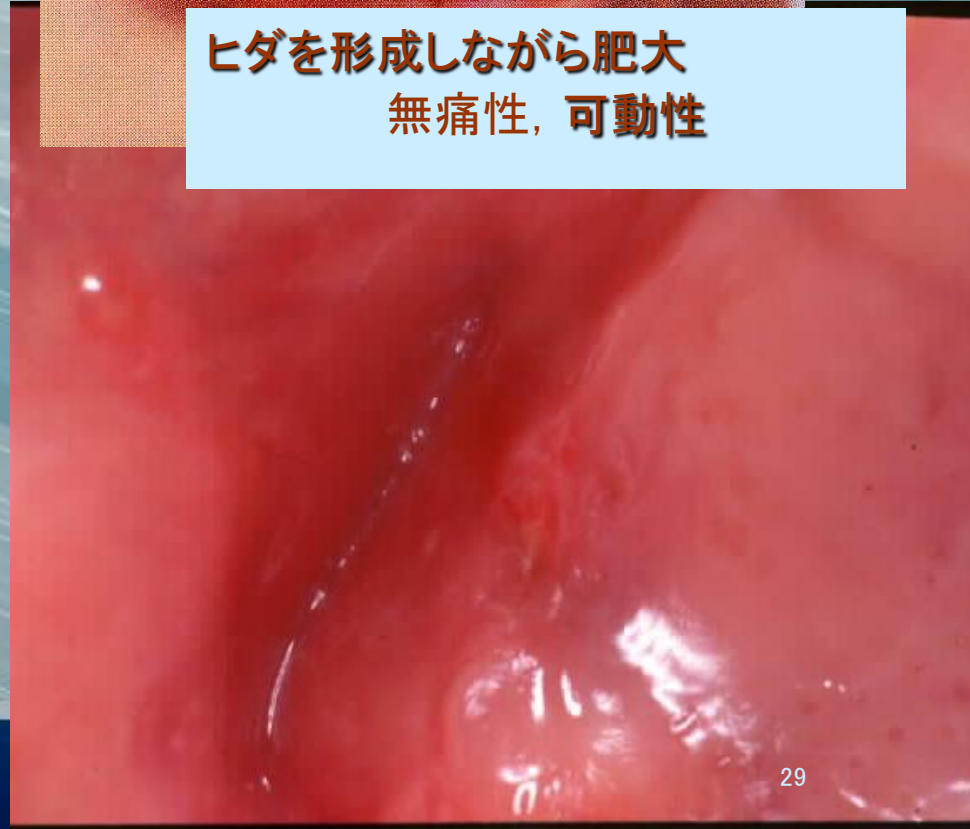
レストの未設置, あるいは破折により支持不良



義歯性線維症

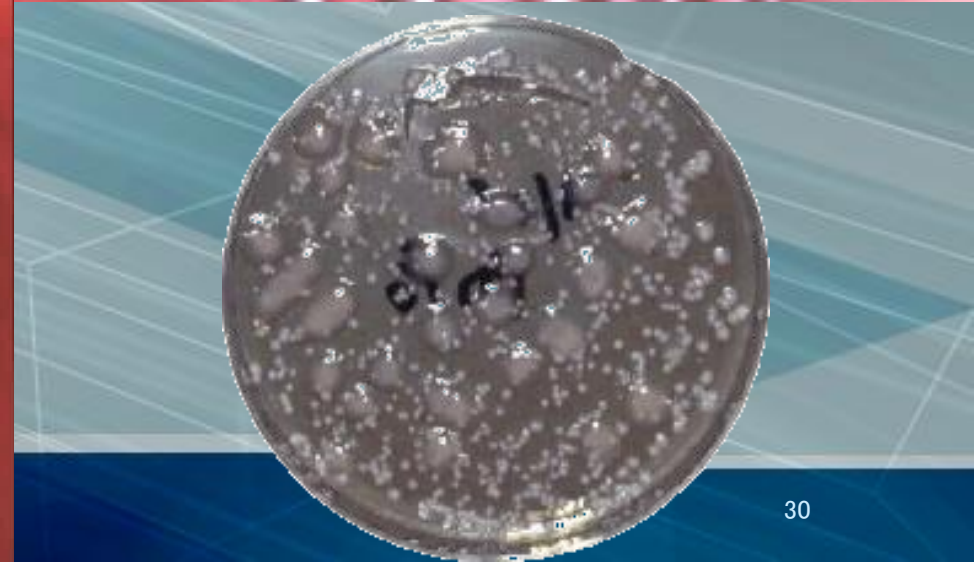
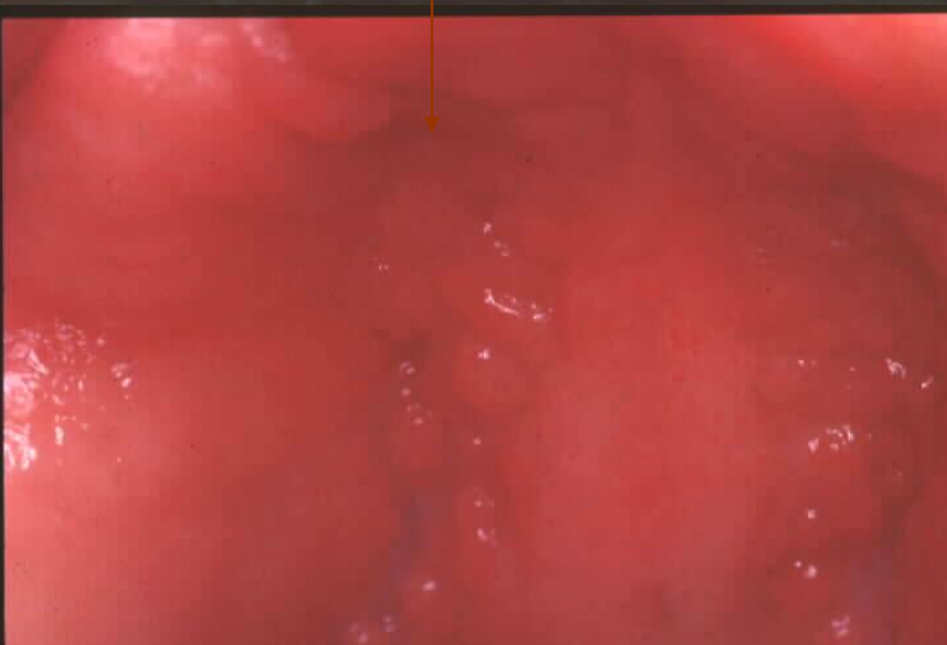
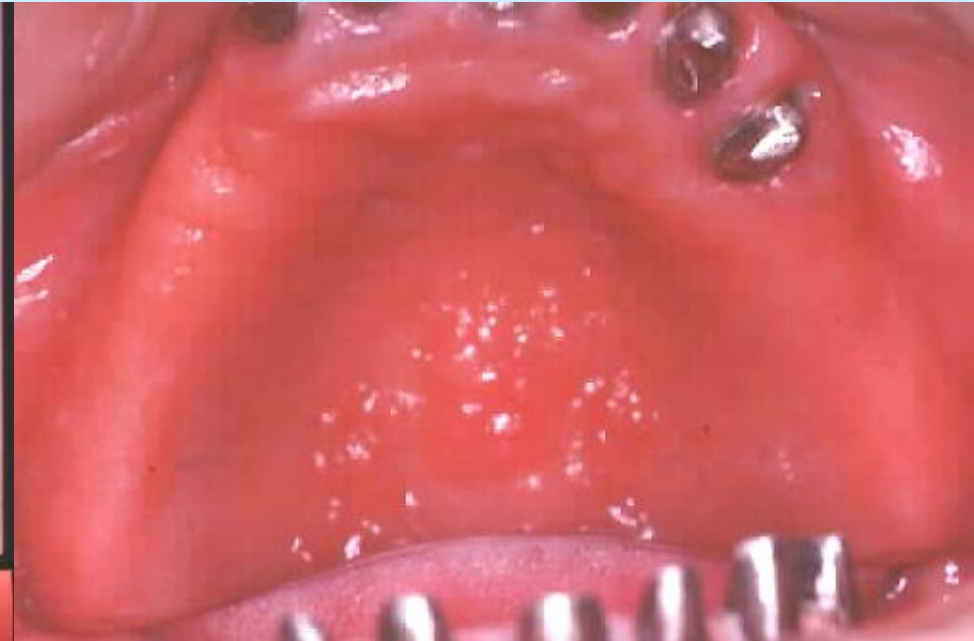
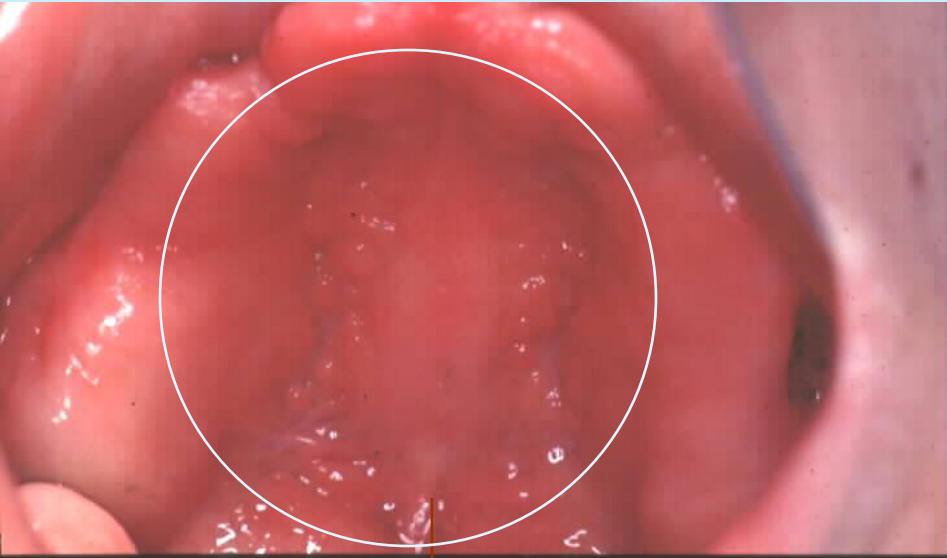


ヒダを形成しながら肥大
無痛性, 可動性

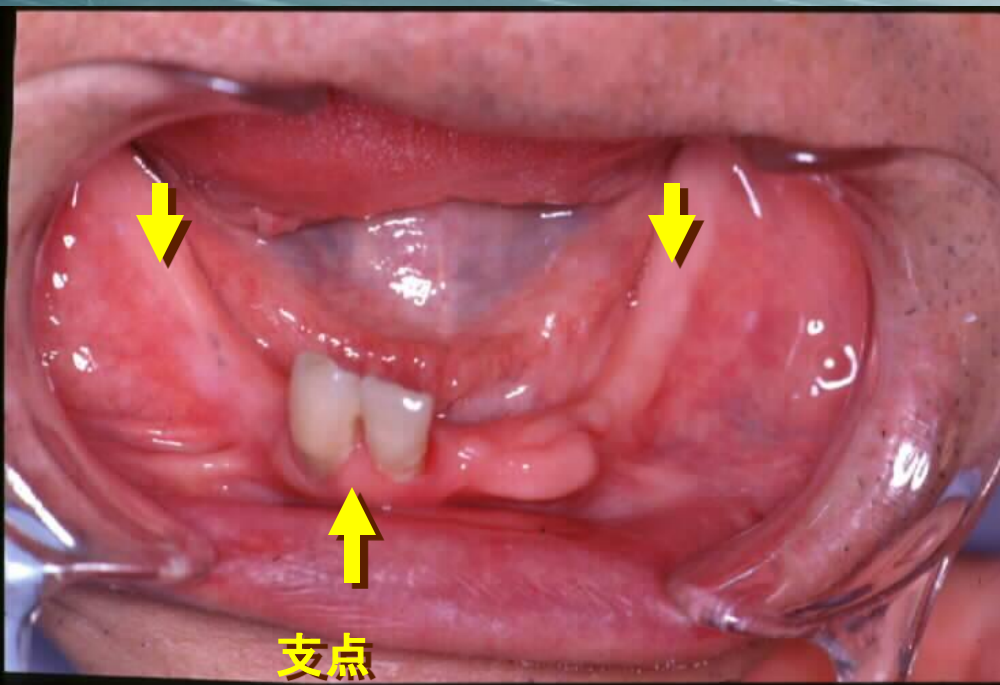


カンジダ症

点状, 帯状, 斑状の偽膜形成と周囲の発赤・腫脹



義齒破折



義齒破折



装着後の不快事項 写真問題の出題パターン

患者情報

(あまり重要でない)

主訴

義歯を入れた時期

65歳の男性。上顎義歯床下粘膜の咀嚼時疼痛を主訴として来院した。義歯は3年前に装着し、疼痛は1週間前からあるという。初診時の口腔内写真 (別冊No.80A p36)、義歯の写真 (別冊No.80B p36) 及び義歯装着時の写真 (別冊No.80C p36) を別に示す。

まず行う処置はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 粘膜調整
- c リライニング
- d クラスプの交換
- e 義歯床の拡大

発症時期

(あまり重要でない)

写真の説明

その他口腔内や症状の説明

- 1.咬合関係・対合歯
 - 1. 噛んだとき…
 - 1. 義歯を押さえた…

装着後の不快事項 主訴の例

咀嚼時痛み(多い)

床下粘膜咀嚼時疼痛

歯肉頬移行部疼痛

口蓋中央部疼痛

食事時下顎前の方痛い

どこがいたいかな...

どうしていたいかな...

(部分的か広範囲か)

義歯が緩くなってきた

義歯の安定が悪い

維持不良 (適合orクラスプ)

維持か把持かな...

咀嚼障害(多い)

痛いのか、支持・把持・維持、咬合関係
何でも考えられる

床下粘膜圧迫感

床下粘膜疼痛 (多い)

支持に問題有り

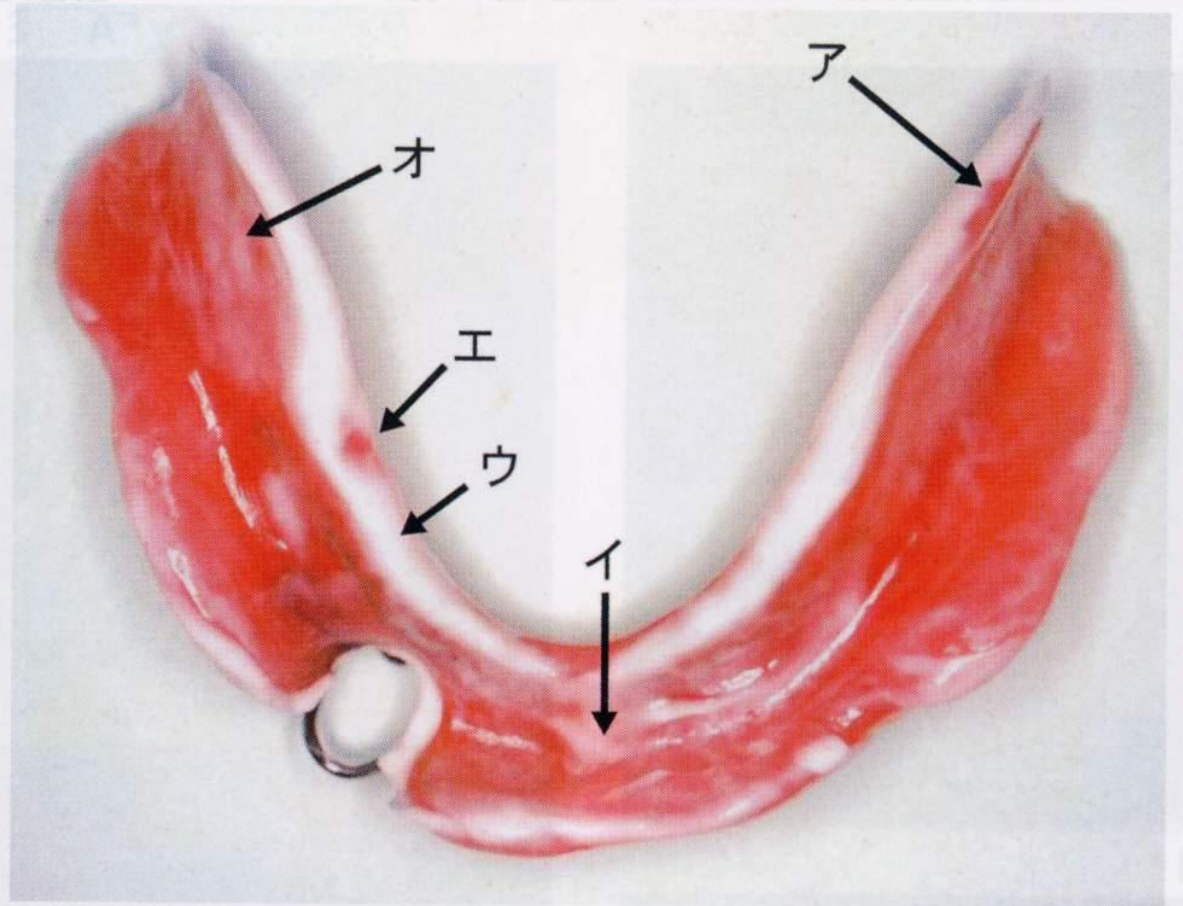
or 適合

...(歯)の疼痛

5 図 70歳の男性。下顎部分床義歯を製作中である。完成義歯の適合試験を行った写真(別冊 No.57 p25) を別に示す。

調整する部位はどれか。

- a) ア
- b) イ
- c) ウ
- d) エ
- e) オ



こたえ:a

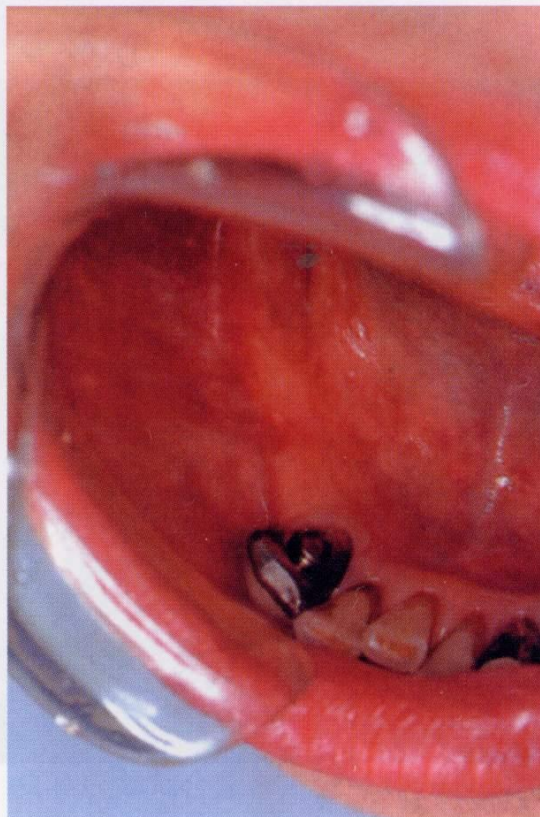
65歳の女性。下顎右側第二小臼歯を抜去し、欠損部に人工歯を増歯した。1か月後の口腔内写真（別冊No.65A p28）と義歯適合試験の結果の写真（別冊No.65B p28）とを別に示す。（別冊No.63A p28）と義歯装着時の写真（別冊No.63B p28）とを併せて示す。

この時点で行うべき適切な処置はどれか。

- (1) 新義歯の製作
- (2) 5相当部のリリース
- (3) 義歯床辺縁の拡大
- (4) 粘膜調整材による粘膜調整
- (5) 臼歯人工歯部の咬合調整

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

こたえ:c



70歳の男性。咀嚼時の痛みを主訴として来院した。義歯は2年前に装着したが、2日前から痛みを感じるようになったという。来院時の口腔内写真（別冊No.58A p25）、義歯の写真（別冊No.58B p25）および義歯適合試験の写真（別冊No.58C p25）を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。

- a) 床内面の適合度の低下
- b) 床縁の封鎖性の低下
- c) レストの破損
- d) 人工歯の摩耗
- e) 支台歯の動揺



C



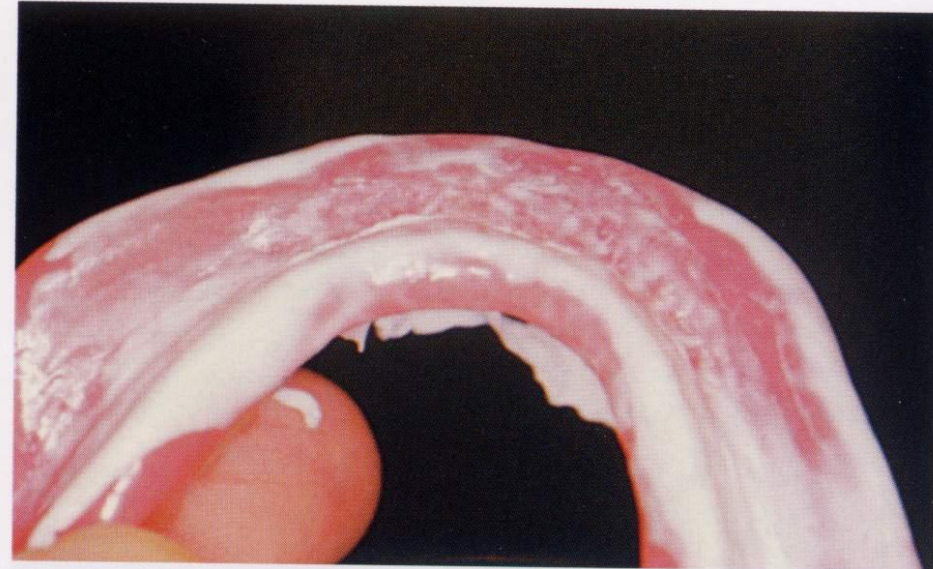
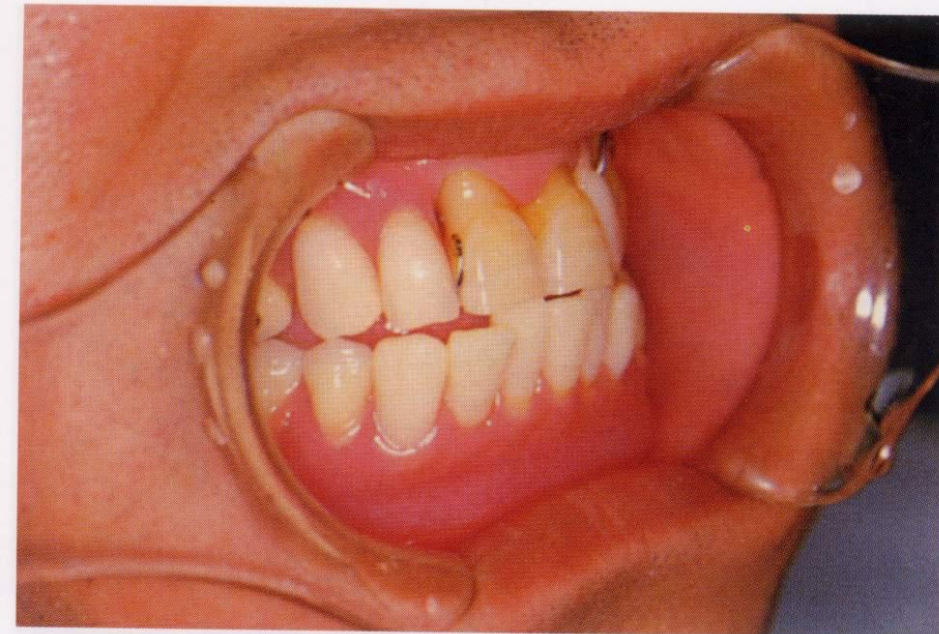
こたえ:c

50歳の男性。1|1以外は喪失しており1週前に上下顎の義歯を装着した。具合よく噛めるが食事が終わるころになると下顎の前の方が痛くなると訴えて来院した。前方咬合した状態の床と粘膜との関係をホワイトシリコーンによって診査した。口腔内写真（別冊No.66A p29）と義歯の粘膜面の写真（別冊No.66B p29）とを別に示す。

正しい処置はどれか。

- a 前歯部で噛むことを練習するように指示する。
- b 側方運動をさせて平衡側の接触部位を削合する。
- c 臼歯部咬合面を削って咬合高径を低くする。
- d 前方運動時の前歯の接触部位を咬合調整する。
- e 義歯床の臼歯部粘膜面を十分に削除する。

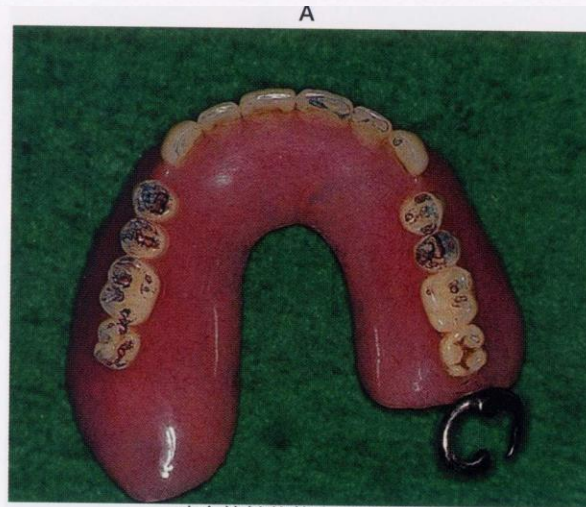
こたえ:d



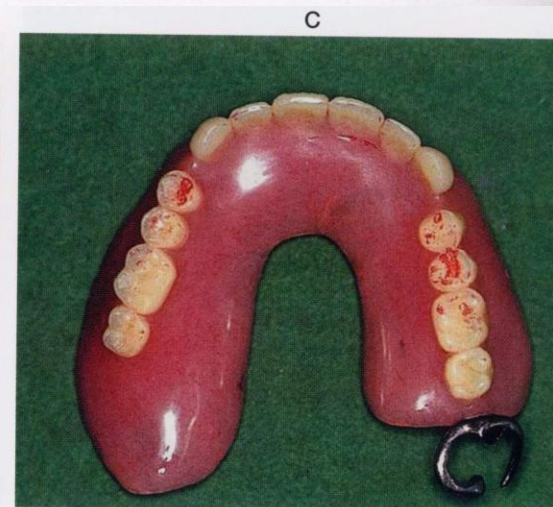
62歳の男性。義歯装着6か月後の検査のため来院した。最近になって義歯が緩くなったという。義歯新製時の写真（別冊No.67A、B p29）と6か月後の検査時の写真（別冊No.67C、D p29）とを別に示す。

行うべき処置はどれか。2つ選べ。

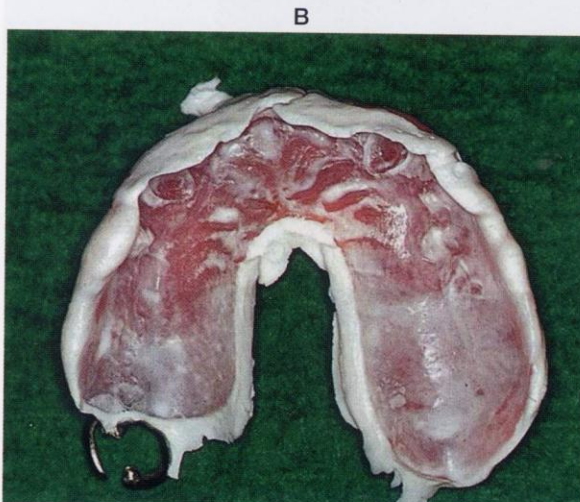
- a 咬合調整
- b 義歯床の拡大
- c 粘膜調整
- d リライニング
- e クラstrup調整



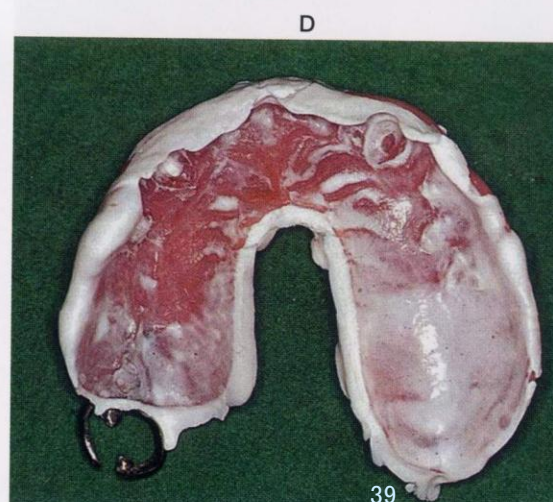
咬合接触状態を示す写真



咬合接触状態を示す写真



適合試験の写真



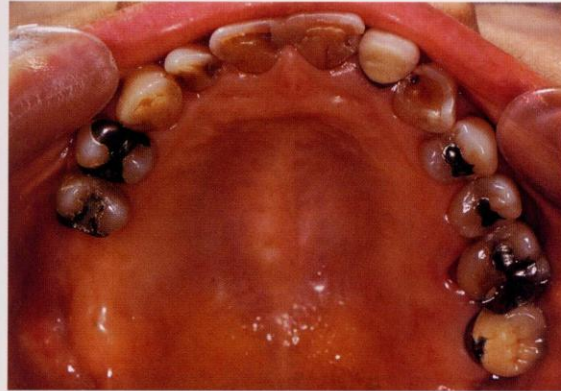
適合試験の写真

こたえ: ad

63歳の女性。下顎義歯床下粘膜の咀嚼時疼痛を主訴として来院した。義歯は1か月前に装着し、1週間前から疼痛を感じているという。初診時の口腔内写真（別冊No.59A p26）、下顎義歯の写真（別冊No.59B p26）および適合試験の写真（別冊No.59C p26）を別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 顎堤の吸収
- b 床面積の不足
- c 支持の不足
- d 人工歯数の不足
- e 辺縁封鎖の不足



c



こたえ:c

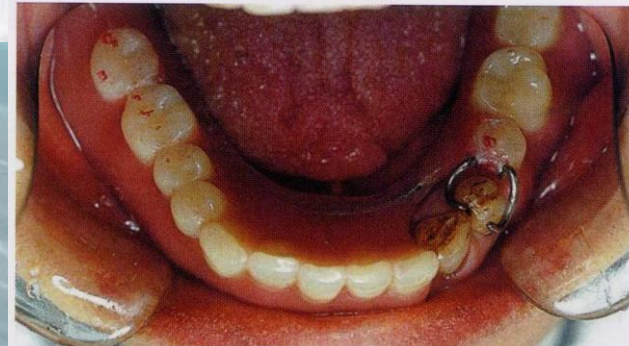
70歳の女性。咀嚼障害を主訴として来院した。3か月前に即時義歯を装着したが、1週間前から床下粘膜に圧迫感があるという。来院時の口腔内写真（別冊No.69A、B p30）と適合試験の写真（別冊No.69C p30）とを別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 床面積の拡大
- c 床辺縁の削除
- d 床粘膜面のリリース
- e リライニング



B ミラー像



赤マーク：中心咬合位の咬合接触

C

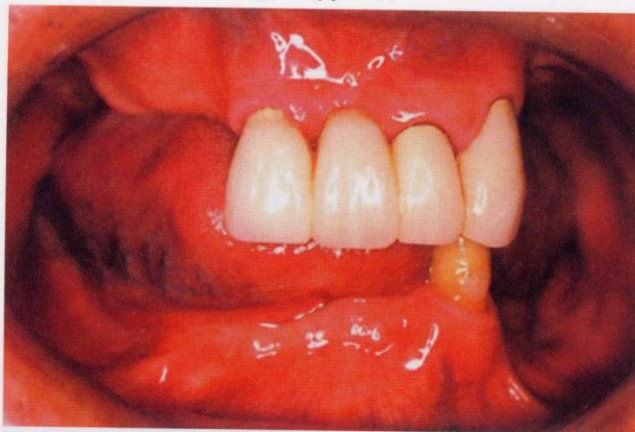


こたえ:ae

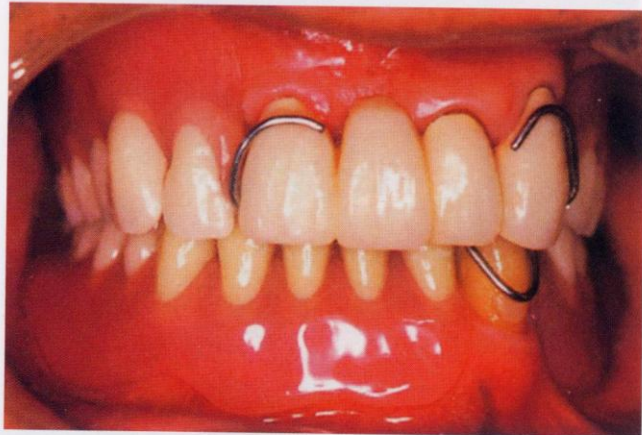
73歳の男性。上顎義歯右側床下粘膜の圧迫感を主訴として来院した。義歯は3か月前に装着し、圧迫感は1か月前からあるという。初診時の口腔内写真（別冊No.70A p31）、義歯咬合時の写真（別冊No.70B p31）及び義歯の写真（別冊No.70C p31）を別に示す。

まず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a リライニング
- b 床縁の延長
- c $\frac{7}{7}$ 人工歯の削除
- d 粘膜調整
- e クラスプの調整



B



C



こたえ:cd

56歳の男性。約4年前に装着した上顎部分床義歯の咬合時の床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。下顎はすべて天然歯であり|3には根面板が合着されていた。口腔内写真(別冊No.71A p31)と義歯装着時の写真(別冊No.71B p31)とを別に示す。

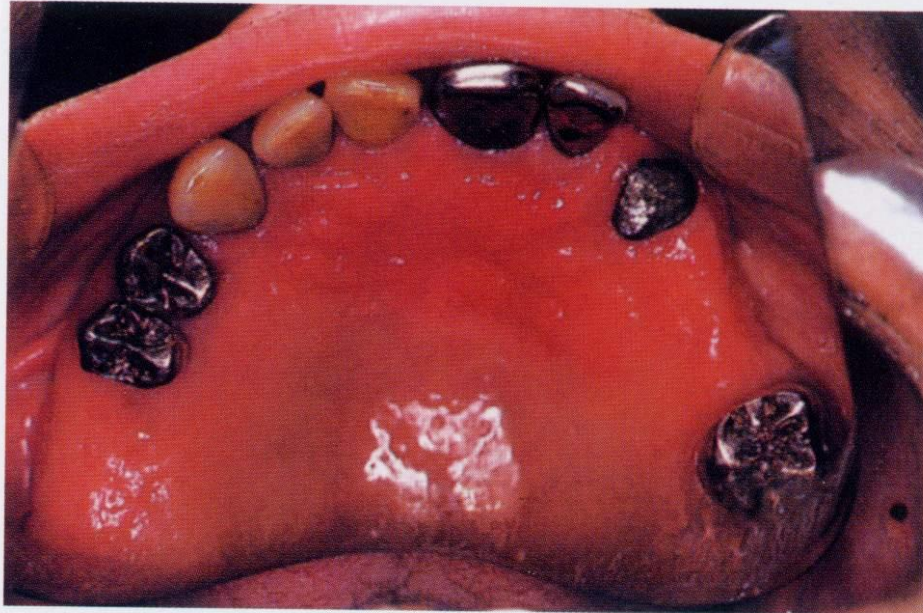
初診時の処置として適切なのはどれか。3つ選べ。

- a 義歯床粘膜面全域をリリースする。
- b ティッシュコンディショニングを行う。
- c 人工歯の咬合調整を行う。
- d 直接法によるリライニングを行う。
- e 義歯修理による床外形の変更。

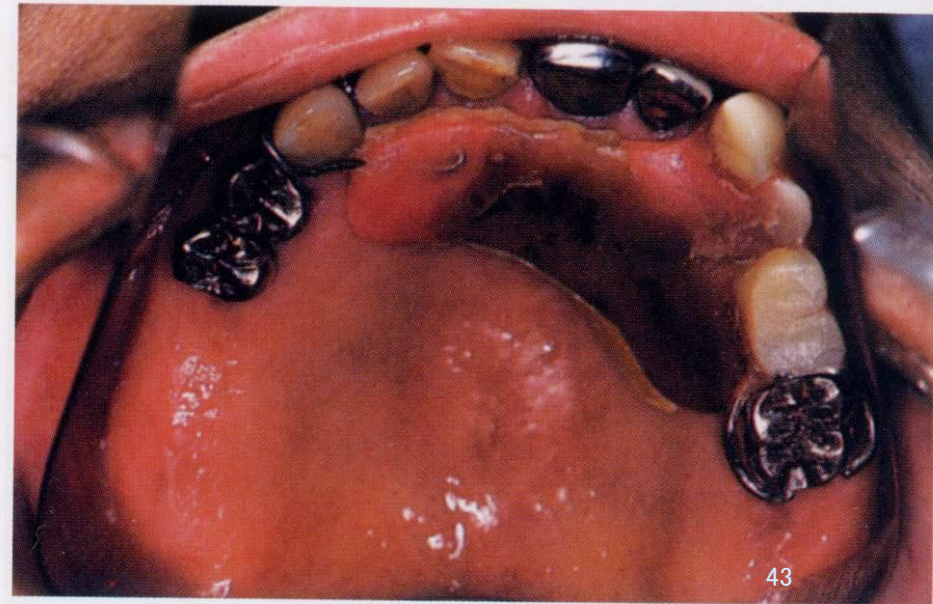
こたえ:bce

(形式改

A



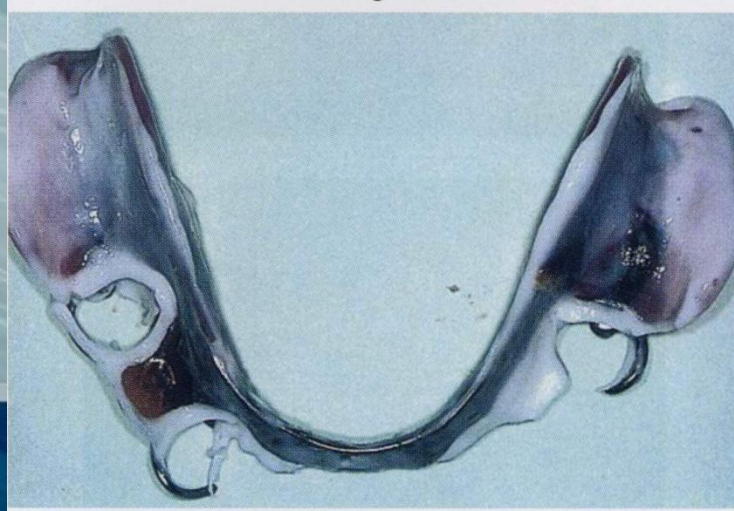
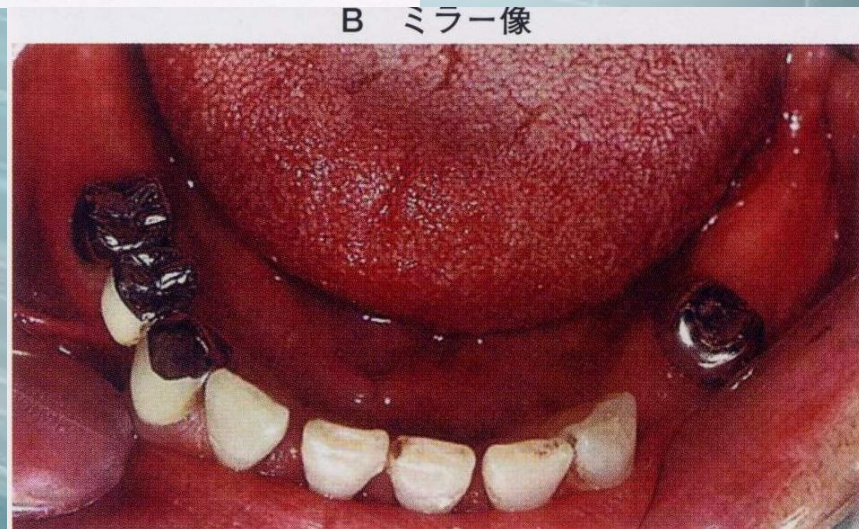
B



59歳の女性。咀嚼時の義歯床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。8年前に義歯を装着し、2日前から咬合時に疼痛があるという。初診時の口腔内写真（別冊No.74A、B p34）と適合試験の写真（別冊No.74C p34）とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a クラスプの追加
- b リンガルバーの調整
- c 床粘膜面のリリース
- d 床辺縁の延長
- e リライニング

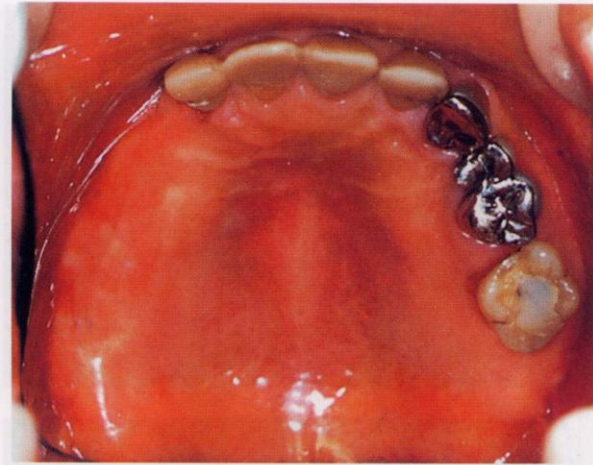


こたえ:e

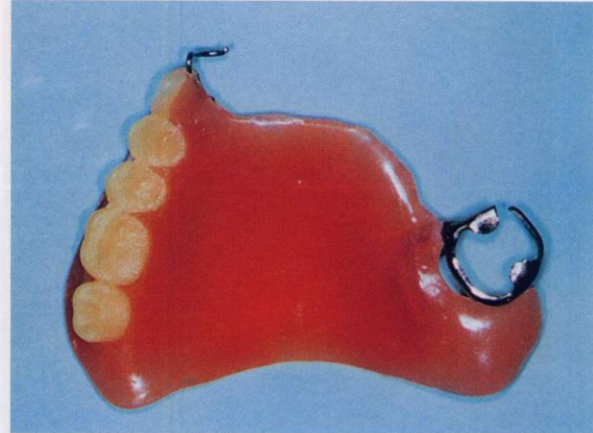
65歳の男性。上顎義歯床下粘膜の咀嚼時疼痛を主訴として来院した。義歯は3年前に装着し、疼痛は1週間前からあるという。初診時の口腔内写真（別冊No.80A p36）、義歯の写真（別冊No.80B p36）及び義歯装着時の写真（別冊No.80C p36）を別に示す。

まず行う処置はどれか。2つ選べ。

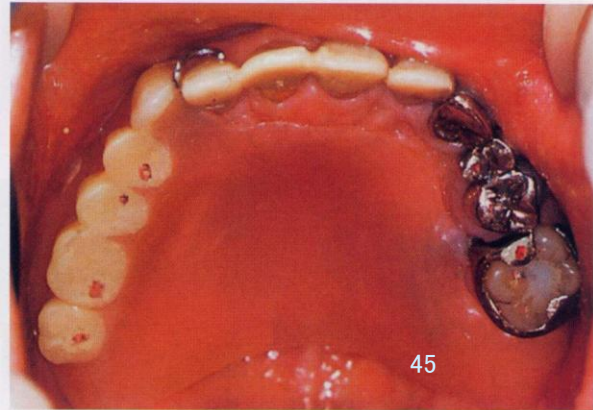
- a 咬合調整
- b 粘膜調整
- c リライニング
- d クラスプの交換
- e 義歯床の拡大



B



C



こたえ:bd

次の文により **1**、**2** の問いに答えよ。

64歳の女性。下顎義歯床下粘膜の咀嚼時疼痛を主訴として来院した。義歯は3年前に装着し、疼痛は3日前からあるという。初診時の口腔内写真（別冊No.81A p37）、義歯の写真（別冊No.81B p37）及び義歯を加圧した時の写真（別冊No.81C、D p37）を別に示す。

1 疼痛の原因はどれか。2つ選べ。

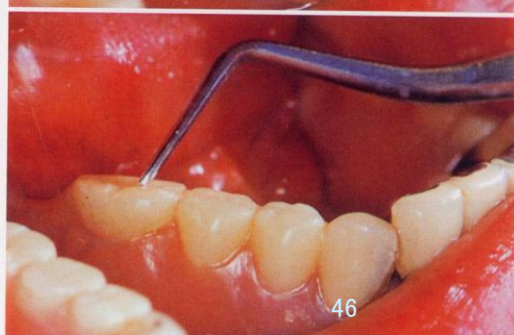
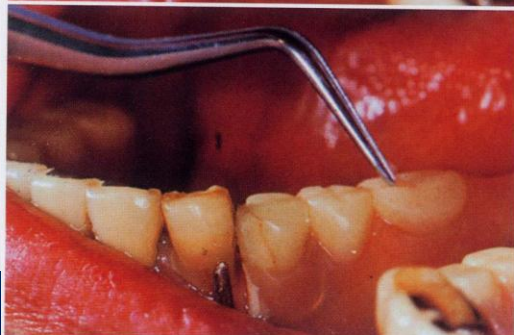
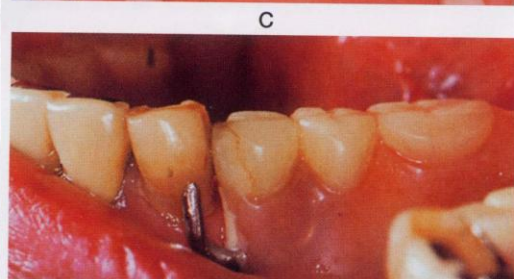
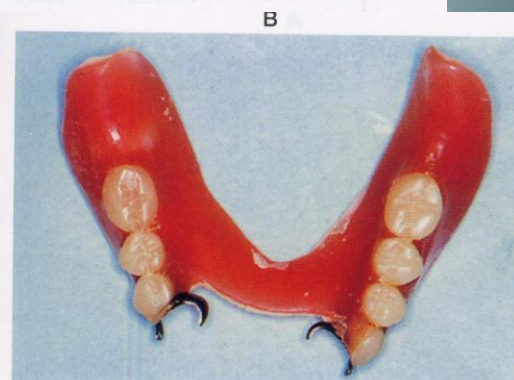
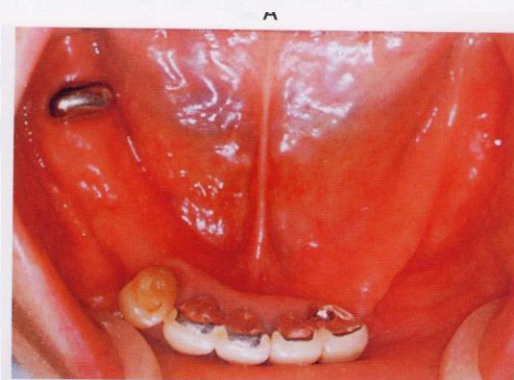
- a 義歯床の不適合
- b 支持の不足
- c 床面積の不足
- d 辺縁の過長
- e 人工歯数の不足

こたえ: ab

2 まず行う処置はどれか。2つ選べ。

- a リライニング
- b Iバーの交換
- c レストの追加
- d 人工歯の追加
- e 床面積の拡大

こたえ: ac



義歯の破折原因

1) 設計・製作の不良：短期破折の原因

- ① 人工歯排列の不備
- ② 口蓋隆起の緩衝不足
- ③ レジン重合の不良（気泡の混入など）
- ④ 義歯床の厚み不足（リリース部位など）
- ⑤ 支台装置の設定部位
- ⑥ 咬合調整の不良
- ⑦ 残根部の被覆部位（オーバードンチャー）

2) 材料の疲労：長期破折の原因

3) 顎堤の吸収による床不適合：長期破折の原因……抜歯後の即時義歯は例外

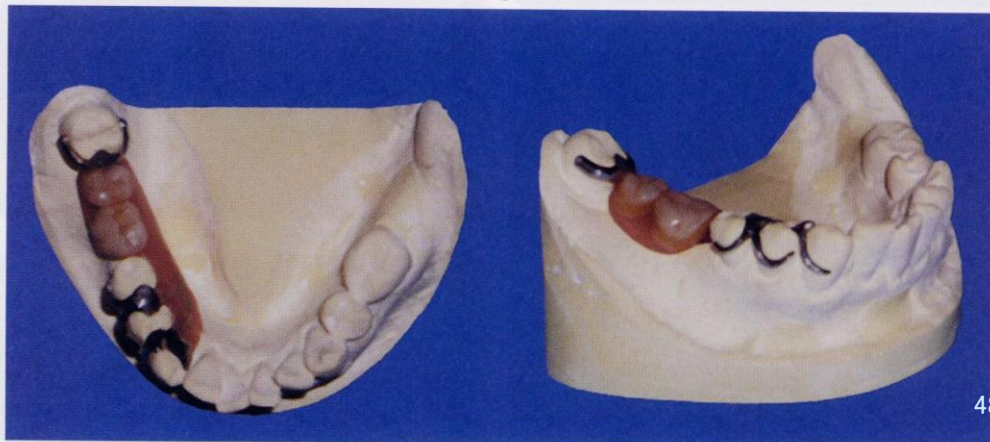
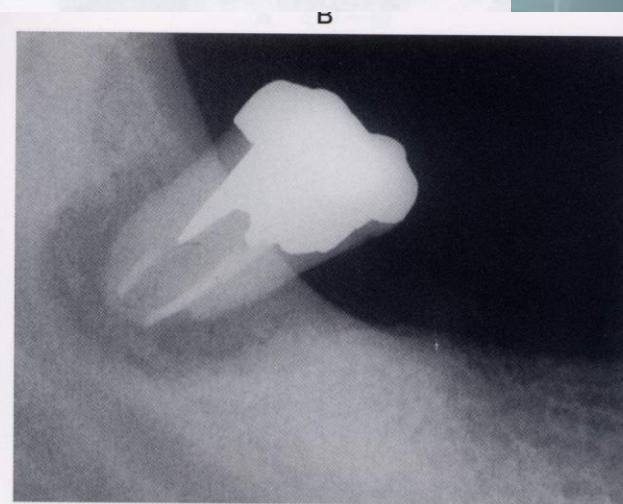
4) 過剰な咬合圧

5) 患者の取り扱い不良

55歳の男性。下顎右側第三大臼歯の疼痛を主訴として来院した。下顎義歯は3年前に装着したが、3か月前から8の動揺を自覚しているという。検査の結果、8を抜歯し、義歯を修理することにした。初診時の義歯の写真（別冊No.94A p43）、エックス線写真（別冊No.94B p43）および研究用模型に義歯を試適した写真（別冊No.94C p43）を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 8の増歯
- b 5の遠心レストの付与
- c 臼歯部人工歯の交換
- d 床面積の拡大
- e 6の間接維持装置の付与



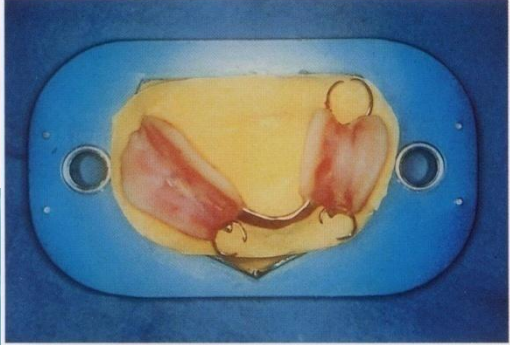
65歳の男性。咀嚼障害を主訴として来院した。患者の義歯を用いてある操作を行った写真（別冊No.95A、B、C p44）と完成後の義歯の写真（別冊No.95D p44）とを別に示す。

行ったのはどれか。2つ選べ。

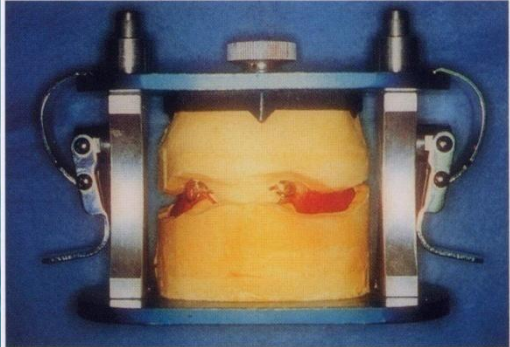
- a 粘膜調整
- b ボクシング
- c リベース
- d リライニング
- e リリーフ



B



C



D

